

令和4年度進行管理・評価シート
美濃市歴史的風致維持向上計画（令和3年3月29日認定）

□進捗評価シート(様式1)

	ページ数
①組織体制(様式1-1)	
1 歴史まちづくり推進委員会による計画の進行管理と連絡調整	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画、屋外広告物条例に基づく取り組み	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 伝統的建造物群保存地区保存修理事業	3
2 歴史的風致形成建造物保存活用事業	4
3 景観に配慮した整備事業	5
4 重要文化財防災設備改修事業	6
5 小倉山城跡・城下町調査研究事業	7
6 美濃和紙の里環境整備事業	8
7 本美濃紙保存・活用事業	9
8 美濃手すき和紙推進事業	10
9 美濃和紙の里会館活用事業	11
10 祭礼用具等整備事業	12
11 地域の祭礼等伝承事業	13
12 ふるさと学習普及推進事業	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査、指定について	15
2 文化財に関する普及・啓発の取組について	16
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 田中賞(作品部門)重要文化財美濃橋修理工事	17

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	18
--------------------------------------	-----------

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和4年度
現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 計画の実施にあたり、全庁的組織の歴史まちづくり推進委員会を設置し、計画の進行管理や連絡調整などを行っている。

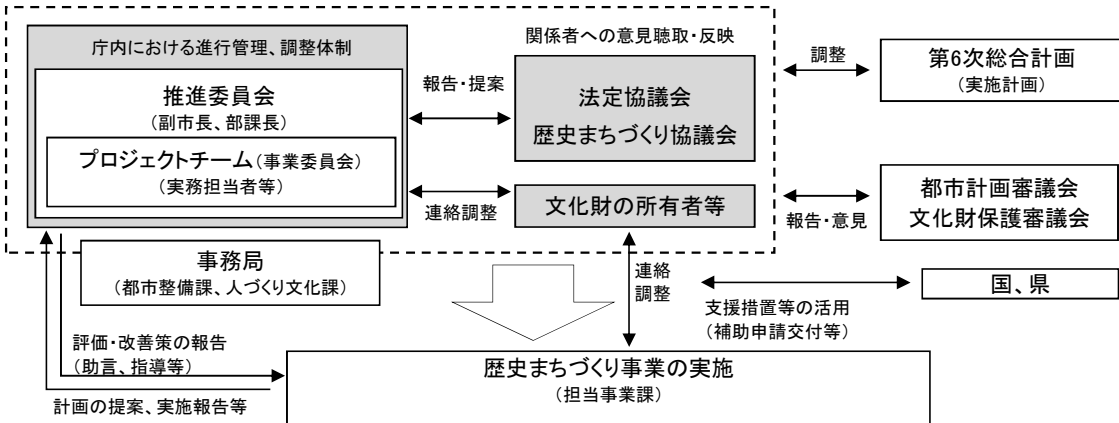
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

副市長を長、部課長を委員とする庁内横断的組織の「美濃市歴史まちづくり推進委員会」を設置し、事業担当課が行う内容を全庁的な視点で確認し、相互調整を行った。
また、推進委員会の下部組織として「事業委員会」を設け、事業内容の具体的な調整や報告等は実務者レベルで話し合ったほか、各事業の進行状況等を相互に把握できるよう、事業計画表を作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○歴史まちづくりの推進体制



- 歴史まちづくり協議会(法定協議会)
 - ・第19回歴史まちづくり協議会(令和5年3月1日・防災中央CC)
令和4年度進行管理・評価シートについて 等
- 歴史まちづくり推進委員会(庁内の横断的組織)
 - ・第20回推進委員会(令和4年9月29日・防災中央CC)
令和4年度事業進捗状況について
令和5年度以降事業計画について 等
 - ・第21回推進委員会(令和5年2月15日・防災中央CC)
令和4年度進行管理・評価シートについて 等
- 歴史まちづくり事業委員会(実務者レベルの会議)
 - ・第33回事業委員会(令和4年8月17日・防災中央CC)
令和4年度事業進捗状況について
令和5年度以降事業計画について 等
 - ・第34回事業委員会(令和5年2月7日・防災中央CC)
令和4年度進行管理・評価シートについて 等



第19回歴史まちづくり協議会の様子



第21回推進委員会の様子

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
景観計画、屋外広告物条例に基づく取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 美濃市全域を景観計画区域に定め、大規模建築物等に対してマンセル値による色彩制限を行い、周辺の町並みや自然環境と調和するよう規制誘導を行っている。また、美濃市屋外広告物条例に基づき、禁止地域、許可地域、禁止物件や広告物の面積等の設置基準を設け規制を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度の景観計画に基づく届け出は5件(同意5件)、屋外広告物条例に基づく許可申請は271件(許可271件)であった。これらの規制誘導により、歴史的風致を維持することができている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○景観計画区域内の行為の制限

届出対象行為	<ul style="list-style-type: none"> ●延べ床面積 500㎡以上の大規模建築物、工作物等 ●開発行為として開発区域 1,000㎡以上の開発 		
行為の制限	使用する色相	明 度	彩 度
	R (赤系)、YR (黄赤系)、Y (黄系) その他	—	彩度 6 以下 彩度 2 以下

○屋外広告物の許可基準

区分	種類	許可地域		禁止地域
		道路及び鉄道で市長が指定する区域	左の区域外	
自家 広告物	野立広告物	○表示面積: 1個50㎡以下 ○高さ: 1.5m以下		○表示面積 1事業所等あたり 合計50㎡以下 ○その他の基準 広告物の種類に 応じて、左欄の基準 を満たすこと
	屋上広告物	○個数: 1つの建築物につき1個(堅固な建築物に掲示する場合は個数制限なし) ○表示面積: 20㎡以下(堅固な建築物に掲示する場合は面積制限なし) ○高さ: 地表から広告物掲出箇所までの高さの2/3以下		
	壁面広告物	○表示面積(次の2つとも満たすこと) ・1個30㎡以下(堅固な建築物に掲示する場合は面積制限なし) ・同一壁面に掲出される表示面積の合計がその同一壁面面積の1/2以下		
	突出広告物	○個数: 1壁面につき1個(堅固な建築物に掲示する場合は個数制限なし) ○表示面積: 1個20㎡以下(堅固な建築物に掲示する場合は面積制限なし) ○下端の高さ ・歩道上にあつては地表から2.5m以上 ・車道上にあつては地表から4.7m以上 ○道路上への出幅: 1m以下		
許可申請		○許可申請が必要。ただし、1事業所等あたり合計10㎡以下のものについては、許可申請不要		

区分	種類	許可地域		禁止地域
		道路及び鉄道で市長が指定する区域	左の区域外	
案内用 広告物 道標等	野立広告物	○表示面積 1面20㎡以下 合計40㎡以下 ○高さ ・広告塔: 1.5m以下 ・その他: 1.0m以下	○表示面積 1面4㎡以下 合計8㎡以下 集合看板 1面20㎡以下 合計40㎡以下 ○高さ: 5m以下	○表示面積 1面20㎡以下 合計40㎡以下 ○高さ ・広告塔: 1.5m以下 ・その他: 1.0m以下
	屋上広告物	○個数: 1の建築物につき1個(堅固な建築物に掲示する場合は個数制限なし) ○表示面積: 20㎡以下(堅固な建築物に掲示する場合は面積制限なし) ○高さ: 地表から広告物掲出箇所までの高さの2/3以下		○表示面積 1面2㎡以下 合計4㎡以下 集合看板 1面10㎡以下 合計20㎡以下 ○高さ 野立広告物のみ 5m以下 ○その他の基準 広告物の種類に 応じて、左欄の基準 を満たすこと
	壁面広告物	○表示面積(次の2つとも満たすこと) ・1個30㎡以下(堅固な建築物に掲示する場合は面積制限なし) ・同一壁面に掲出される表示面積の合計がその同一壁面面積の1/2以下		
	突出広告物	○個数: 1壁面につき1個(堅固な建築物に掲示する場合は個数制限なし) ○表示面積: 1個20㎡以下(堅固な建築物に掲示する場合は面積制限なし) ○下端の高さ ・歩道上にあつては地表から2.5m以上 ・車道上にあつては地表から4.7m以上 ○道路上への出幅: 1m以下		
許可申請	○許可申請が必要。ただし、道標等は、2㎡以下のものについては、許可申請不要			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
伝統的建造物群保存地区保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物等については必要な保存修理・復旧事業を実施するとともに、その他の建造物等については修景事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の所有者が実施する修理・修景事業に対し、費用の一部を助成した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



小野木家 倉庫 新築修景



直井家 主屋 修理

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物の候補とした建造物の指定を検討し、指定された建造物の修理等に補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本計画にて歴史的風致形成建造物の候補とした建造物の指定を検討し、候補物件のうち1件(長良川鉄道美濃市駅)を歴史的風致形成建造物に指定した。また、歴史的風致形成建造物の修理等を行う者に対して補助を行うために「美濃市歴史的町並み整備事業補助金交付要綱」を制定した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○位置図(城下町上有知地区)



○歴史的風致形成建造物



旧須田万右衛門邸



旧名鉄美濃町線美濃駅



長良川鉄道美濃市駅

○美濃市歴史的町並み整備事業補助金の補助率等

区分	補助対象経費	補助率	限度額	
歴史的風致形成建造物	主屋・付属屋等	増築、改築、修理、修繕等(構造耐力上主要な部分にかかる工事を含む)に要する経費で、補助対象事業の基準に適合するもの	8/10	600万円
	工作物(塀、門等)		6/10	200万円
	環境物件(生垣・石垣・塀等)	環境物件の復元・復旧に要する経費	6/10	100万円

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
景観に配慮した整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 城下町上有知地区内において、景観に配慮した整備を実施する。旧牧谷街道、美濃橋及び川湊公園周辺では、歴史的景観の保全、建造物の修景、小公園整備、道路美装化、案内板設置等の整備を、美濃市駅前周辺においては、小公園整備、歴史的風致形成建造物の修理等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

《旧牧谷街道、美濃橋及び川湊公園周辺》

旧牧谷街道沿いの建造物について、景観に配慮した修景整備等を行う者に対して補助を行うために、「美濃市歴史的町並み整備事業補助金交付要綱」を制定した。

《美濃市駅前周辺》

当該年度については、旧名鉄美濃町線美濃駅舎の外壁の修繕工事を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

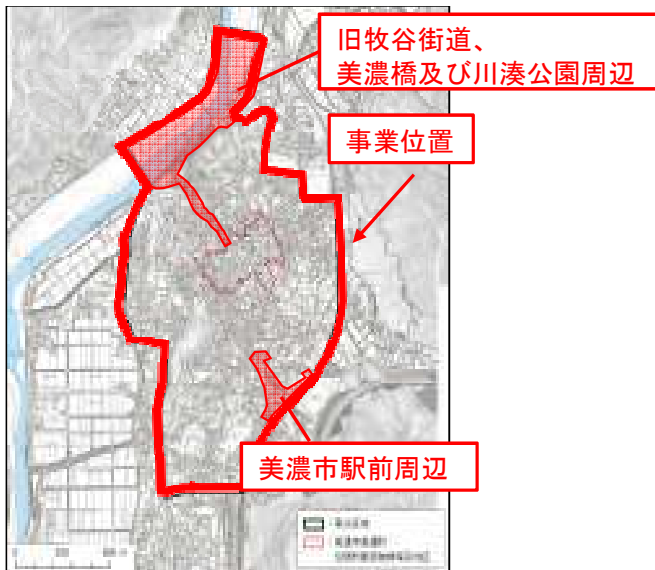
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

旧名鉄美濃町線美濃駅舎の耐震改修は定期的に駅舎の状態を確認し、改修工事の実施を検討していく。

状況を示す写真や資料等

○位置図(城下町上有知地区)



○旧名鉄美濃町線美濃駅の外壁修繕



修繕前



修繕後

○美濃市歴史的町並み整備事業補助金の補助率等

区分	補助対象経費	補助率	限度額
旧牧谷街道沿道区域内建造物	主屋・付属屋等	6/10	400万円
	工作物(燈、門等)		100万円
環境物件	(生垣樹木等)	4/10	80万円
	(石垣側溝等)		100万円

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
重要文化財防災設備改修事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和4年度～令和6年度
支援事業名	県文化財保護事業費補助金、市文化財保護費補助金

計画に記載している内容	重要文化財を火災による被害から守る防災設備を更新する。
-------------	-----------------------------

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国指定重要文化財小坂家住宅、長蔵寺舍利塔及び須弥壇、大矢田神社本殿・拝殿の防災施設点検を実施するとともに、文化財防火デーに合わせ、指定文化財(旧今井家住宅・清泰寺・八幡神社)の防火点検を実施、文化財所有者に対し文書を配布し啓発活動を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



小坂家住宅 防火点検



長蔵寺 防火点検



長蔵寺 防火点検

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
小倉山城跡・城下町調査研究事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 近世初頭に金森長近が築いた小倉山城跡、城下町及び上有知湊や関連する寺院など総合的に調査研究を行い、城下町上有知と、その後の商家町として形づくられた過程を把握する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

悉皆調査により収集した資料の調査を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



制作年不詳(上有知代官所の記載がないため天明3年(1783)以前と推測される)の絵地図、寛政4年(1792)の絵地図より上有知の村の産業を考察する一助となった。



明暦2年の検地帳・名寄帳の調査を行い、江戸時代初期の上有知村の土地の利用状況について新たな知見を得られた。



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
美濃和紙の里環境整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「美濃手すき和紙の家 旧古田行三郎」や周辺の手すき和紙関連施設を整備、活用しながら、その魅力を発信することで更なる観光誘客を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「美濃手すき和紙の家 旧古田行三郎」については、藤生地区を中心に紙すき経験者を中心とした会「漉き娘の会」の会員に建物維持管理を委託するとともに、開館日(3～11月の土・日曜、祝日※)には、来訪者への案内ボランティアを実施しております。今後の活用については、周辺の手すき和紙関連施設も合わせ検討しています。
 11月27日「美濃和紙の日」記念イベントについては、今年度、美濃和紙の里会館と芝生にて「ナイトミュージアム」及び「本美濃紙ランタン」を初めて開催し、多くの来場者があり、大変賑わいました。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

「漉き娘の会」会員の高齢化及び会員数の減少が課題となっている。旧古田行三郎の活用方法の検討、周辺の手すき和紙関連施設の整備、活用の検討、案内看板設置検討を進めていく。

状況を示す写真や資料等

- 美濃和紙の里会館を拠点とした紙屋、川屋の散策ルート整備
- 美濃手すき和紙の家 旧古田行三郎



- 11月27日「美濃和紙の日」のPR(11/26に開催した「ナイトミュージアム」、「本美濃紙ランタン」)



評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
本美濃紙保存・活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 重要無形文化財「本美濃紙」の技術を保存継承するため行う研修生の育成、今後の職人発掘のために行う実演などの啓発活動に助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本美濃紙保存会が重要無形文化財「本美濃紙」の技術継承のために技術研修会を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 用具・原料の保存伝承とともに、関係団体との連携に取り組む必要がある。

状況を示す写真や資料等



8/16～26 技術研修 あげ晒らし



8/16～26 技術研修 叩解とちり取り



8/16～26 技術研修 紙すき



8/16～26 技術研修 選別

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
美濃手すき和紙推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 伝統的工芸品産業支援補助金

計画に記載している内容 伝統工芸品美濃手すき和紙の振興のため、後継者育成を支援する。また、原料供給安定のため楮栽培事業を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナの影響で伝統的工芸品産業支援補助金による展示会事業は中止となった。全国重要無形文化財保持団体協議会美濃大会で本美濃紙の実演をはじめ美濃手すき和紙を広くPRできた。こうぞ栽培事業の支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

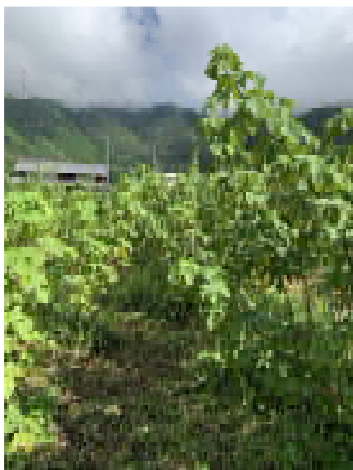
伝統的工芸品産業支援補助金による事業は県との連携を強くして行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

○こうぞの荒削り作業



○こうぞ生産組合活動



○こうぞの生産状況

美濃市こうぞ生産組合

○活動補助金交付金

<穴洞支部> 700千円

<蕨生支部> 700千円

		令和3年度	令和4年度	前年比(%)	
穴洞支部	会員数	25名	25名	100.00	
	作付面積	53 a	53a	100.00	
	生産量	白皮	101.25kg	138.75kg	137.04
		黒皮	183.75kg	90.00kg	48.98
赤すじ		8.63kg	18.75kg	217.27	
蕨生支部	会員数	8名	8名	100.00	
	作付面積	43 a	43a	100.00	
	生産量	白皮	33.75kg	37.50kg	111.11
		黒皮	-	-	-
		赤すじ	-	-	-

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
美濃和紙の里会館活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 美濃和紙の里会館の常設展示の拡充と、売店機能の強化とPRを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

美濃和紙ブランド組合が販路拡大のため、ECサイトを立ち上げる事業を支援している。ブランド商品のPRとともに美濃和紙の里会館売店での取扱商品も活用できるよう検討している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

ブランド商品販売計画による売店商品の充実を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等



ECサイト用
売店の企業商品



ECサイト用
売店の手すき和紙商品

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
			現在の状況
祭礼用具等整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	県文化財保護事業費補助金、市文化財保護費補助金		
計画に記載している内容	祭礼に用いられる山車や山車蔵、用具類や用具等収蔵庫の修理修復に対する費用助成を行う。 現状変更等を伴う修理や整備などを行う場合には、文化財保護法をはじめ関係法規に基づいた手続きを行うとともに、文化庁や岐阜県文化財担当部局、及び美濃市文化財保護審議会や美濃市伝統的建造物群保存地区保存審議会など学識経験者等の指導と助言を得ながら行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・真木倉神社本殿 保存修理事業(県) ・大矢田のヒンココ(獅子頭)保存修理(県) ・大矢田のヒンココ地域の伝統行事等のための伝承事業(文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)) ・常盤町 花みこし太鼓復元新調事業(市) ・祭礼車山(浦島車)収蔵庫保存修理事業(県)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



真木倉神社 本殿 保存修理



大矢田のヒンココ(獅子頭)保存修理



祭礼車山(浦島車)収蔵庫保存修理事業(修理前・修理後)

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
地域の祭礼等伝承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市文化財保護費補助金

計画に記載している内容 地域で行われている祭礼や伝統行事等の調査研究や記録保存を行うほか、その保持団体が行う活動に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市史編纂に伴い、収集した資料の調査研究を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



須田家所有 上有知村字絵図
収集した資料の調査・研究を進めています。

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
ふるさと学習普及推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「ふるさと美濃」を知る機会として、各種啓発事業を展開することで、地域における歴史的風致の担い手である地域住民の歴史文化に関する見識を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

毎月1日に発行される「広報みの」に「先人からの便り」を掲載し、美濃市の歴史や関連する人物について紹介することで、「ふるさと美濃」の周知を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

記載号	記載内容
令和4年 4月号	江戸から明治へ「曾代系」の歴史
令和4年 5月号	中世の美濃紙について その1
令和4年 6月号	中世の美濃紙について その2
令和4年 7月号	江戸時代初期の上有知村の石高(収穫量)について(その1)
令和4年 8月号	江戸時代初期の上有知村の石高(収穫量)について(その2)
令和4年 9月号	激動のまちづくり 明治から大正・昭和へ
令和4年 10月号	長良川の水泳文化
令和4年 11月号	美濃紙の話 金太郎手記より
令和4年 12月号	戦時下の暮らし(1)
令和5年 1月号	戦時下の暮らし(2)
令和5年 2月号	御鋤様祭り
令和5年 3月号	激動のまちづくり 明治から大正・昭和へ

令和4年度 広報みの「先人からの便り」掲載一覧



広報みの 表紙



先人からの便り 掲載ページ

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財の調査、指定について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の調査研究や、関連法規などに基づいて文化財の保存活用に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

寄贈を受けた資料の整理・調査を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



平成21年度より市民の方々からご寄贈いただいた江戸時代から昭和にかけて使用された用具類について整理を行い、令和4年4月1日付けで市の有形民俗文化財に指定しました。
手漉き和紙に係る資料一式、養蚕道具、農耕具、人形類など10種類の多岐にわたる用具類は現在美濃市片知にある美濃和紙用具ミュージアムふくべで展示されています。



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
文化財に関する普及・啓発の取組について			現在の状況
			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財に対する市民意識の高揚を図るため、誰もが気軽に参加できる展示会や講演会を開催するとともに、必要に応じて文化財愛護団体等が行う普及、啓発活動などへ支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

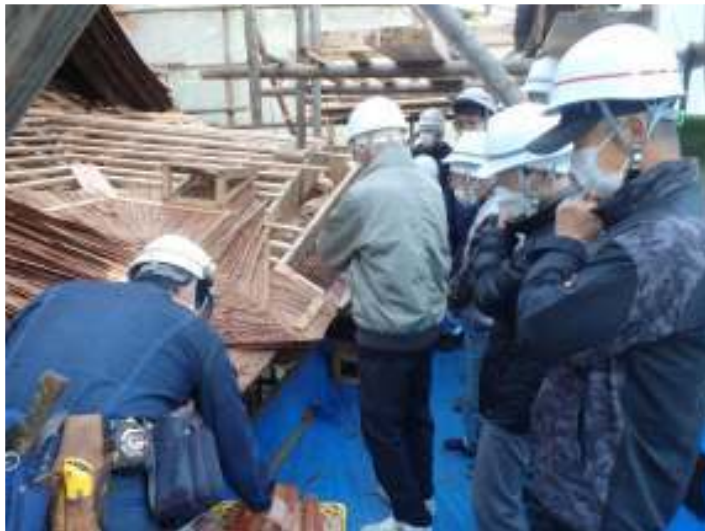
修理中の真木倉神社で現地公開を行った。市のHPで募集を行い、約50人の参加があった。参加者は足場の上で檜皮の葺き替えの状況を見学のほか、原寸大モデルを利用した檜皮葺き体験や屋根を葺くための檜皮こしらえなどを間近で見学してもらうことができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



真木倉神社 見学

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
田中賞(作品部門)重要文化財美濃橋修理工事	2022.6.10	令和3年度 名誉会員及び土木学会賞等
土木のチカラ 百寿を超えたケーブルで吊る赤い橋	2022.7	日経コンストラクション
全建賞 一般幹道路部門 ⑩国指定重要文化財「美濃橋」大規模修繕更新補助事業	2022.8	月刊「建設」

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

美濃橋の修理工事について、田中賞及び全建賞を受賞しました。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

田中賞【作品部門(改築)】

(2)重要文化財美濃橋修理工事

企業者：美濃市
 調査・設計・監理者：(株)文化財保存計画協会
 設計協力(構造解析・耐震診断・補強等)：大日本コンサルタント(株)
 施工者(元請)：(株)熊谷組、ショーボンド建設(株)、(株)東亜製作所
 所在地：岐阜県美濃市舊代、旧備代地先、同前野
 構造形式：【上部構造】鋼製補剛吊橋、
 補剛桁構造ダブルワーレントラス、木製床版
 【下部構造】コンクリート造
 アンカーレイジ2基、鉄筋
 コンクリート造の主塔2基
 (修理後：炭素繊維補強)
 橋長等：113m



田中賞 授賞賞牌



「美濃橋 全建賞記事」 出典：月刊「建設」2022.8 Vol.66

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度		令和4年度
・法定協議会等におけるコメント		
コメントが出された会議等の名称: 第19回美濃市歴史まちづくり協議会		
会議等の開催日時: 令和5年3月1日(水)午後1時30分～ (会場: 美濃市防災・中央コミュニティセンター2階大会議室)		
<p>(コメントの概要)</p> <p>○歴史まちづくりは総合的なまちづくりであるが、一方で専門性が必要な場面がある。専門職員を長く配置し、専門的知識や技能を深めていただく方が、美濃市の歴史的なまちづくりに寄与するのではないか。</p> <p>○伝統的建造物群保存地区内の古民家等について、工事費の一部の費用助成があっても、個人での維持管理は将来的に厳しいと感じる。今後は、市による管理や他の利活用等の方法を考えていただきたい。</p> <p>○今後は、小倉公園周辺と旧牧谷街道、美濃橋及び川湊公園周辺が次の整備するターゲットになる。洲原神社に関して調査研究が進んでいるので、国指定文化財等について検討していただきたい。</p> <p>○歴史の新しい発見や事業進捗等を、部分改定として計画に加筆することを検討していただきたい。</p> <p>○牧谷地区では、こうぞ生産組合がこうぞの生産に取り組んでいるが、多くの太陽光パネルが設置されてきている。太陽光パネルの設置等について、特別な規制等はできないか。</p>		
<p>(今後の対応方針)</p> <p>○専門職員の配置、古民家の維持管理方法、文化財の指定及び計画の加筆・修正等について検討していく。</p> <p>○太陽光パネル設置については、あまり多くなるようであれば条例等による規制を検討する。</p>		